別紙様式８

（日本工業規格Ａ列４番）

編　修　趣　意　書
（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
２７－９７	高等学校	国語	国語総合	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教　科　書　名
１１７明治	国総３５２ 国総３５３	新　精選国語総合　現代文編 新　精選国語総合　古典編

１．編修の趣旨及び留意点

高等学校学習指導要領「国語総合」に掲げられた趣旨や目標を効果的に達成することに留意し、次の方針を立て、それに準拠した。

a　「A 話すこと・聞くこと」領域は、年間 17 時間程度の学習を目標とし、「B 書くこと」領域は、年間 30 時間程度の学習を目標とした。また、「C 読むこと」領域は、年間 93 時間程度の学習を目標とした。更に相互に有機的な関連を持たせるようにした。［伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項］については、言語に関する能力の充実を図るため、それぞれの領域の中で指導できるようにした。

b　教材は、もっとも基本的で価値が高く、生徒の心情や発達の段階を考慮した、親しみやすい作品の中から厳選した。また、言語文化に対する関心や理解を深めるため、言語活動が十分行われるよう適切に選定した。

c　厳選した作品の中から、内容・長短・難易などを考慮して、より適切な部分を掲げた。

d　教材は、表記を工夫して読みやすくし、言葉の上での抵抗を少なくするように図った。漢文教材は訓点を施し、また、教材によっては書き下し文を併用するなどして、理解しやすいように工夫した。

e　古典に親しみ、興味を広げることができるように、古典を学ぶ意義を理解しやすい作品を掲げた。

f　授業の実態を考慮し、効果的な指導が行えるように、また、学習の便に資する形態として、現代文編と古典編の２分冊とした。

２．編修の基本方針

下記の編修の基本方針に則り、基本的に「国語総合」全ての教材の内容を通して教育基本法第２条各号に示す目標を達成するよう教材を選択し、配列した。その中で特徴的な教材については「３．対照表」に示した。

「国語に親しみ、総合的な知性と豊かな感性を持つ創造的人間を育てる」

a　文章を論理的に理解し、思考する力を養う。

b　優れた文学作品に触れ、感受性・情緒性豊かな想像力や思いやりの心を育む。

c　表現力・コミュニケーション力・創造力を高め、社会性・国際性を育み、生きる力、 課題解決能力を培う。

d　古典に親しみ、自国の文化についての理解を深める。

e　生涯にわたり読書に親しむ習慣を身につける。

３．対照表

（例）

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第１号　幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	幅広い知識と教養を身に付ける、という観点から冒頭単元は現代文入門とし、文明論的評論・随想・科学的評論に触れることができるように工夫した。	現8頁1行目～23頁11行目
第２号　個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う、という観点から、「研究」に働くことの目的、意味等について考えさせる内容を盛り込んだ教材「働くことの意味」を掲げた。	現156頁1行目～163頁4行目

第３号　正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う、という観点から、それらにつながる事柄について自ら考え、意見を述べるという活動を具体的例示とともに掲げた。	現128頁1行目～143頁16行目
第４号　生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う、という観点から、端的にその内容に触れ、考えさせる教材「マンモスの歩いた道」を掲げた。	現78頁1行目～85頁14行目
第５号　伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	我が国の伝統と文化に対する関心や理解を深め、日本人としての自覚を持ちながら世界の中の日本を考え、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う、という観点から、古文・漢文を学ぶ意義に触れた文章や古典に関する近代以降の文章を掲げ、興味関心を広げながら、我が国の伝統と文化を、古典教材や「言葉のi」等から学び取れるように工夫した。また、国際社会へと視野を広げられる近代以降の文章を掲げた。	古8頁1行目～147頁7行目 現37頁・61頁・155頁・179頁

４．上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

別紙様式９

（日本工業規格Ａ列４番）

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表、配当授業時数表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
２７－９７	高等学校	国語	国語総合	

※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※　教　科　書　名
１１７明治	国総３５２ 国総３５３	新　精選国語総合　現代文編 新　精選国語総合　古典編

１．編修上特に意を用いた点や特色

a　単元の構成
　単元の構成は、原則として領域別、ジャンル別とした。学習が重点的、かつ効果的に行われることを期待したからである。

b　単元の配列
　単元の配列に当たっては、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の各領域、さらに「C読むこと」のうち、「近代以降の文章」「古文」「漢文」の各分野の配当時数並びに、バランスを考慮した。特に「古文」「漢文」の単元については、生徒の興味喚起と学習到達度を考慮して、発展的、系統的に学習できるように配列した。

c　教材の選択
　「国語総合」が、中学校三年間の国語学習の延長上にあり、義務教育段階での学習内容の確実な定着を図るという見地から、教材選択に当たっては、読解に困難を伴うもの、語句・表現の理解に抵抗の多い教材はできるだけ避けるよう配慮した。また、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の能力を偏りなく養い、読書に親しむ態度の育成に配慮し、「読むこと」の教材を含めて、「近代以降の文章」については、生徒の生活感覚に近いもので、獲得すべき価値を多く有しているものを人文・自然の両面にわたり幅広く、調和的に選んだ。評論については、「評論の窓」で発展的な学習もできるようにした。「古典」については、古典としての評価が高く、かつ生徒の学習意欲を喚起するに足る基本的で親しみやすい教材を精選した。また、古典教材の学習を容易にし、興味を持たせるため、読みやすくするよう表記を工夫し、学習上必要と思われる教材には注釈・解説・現代語訳・訓点・書き下し文・現代仮名遣い等を示し、古典に関する近代以降の文章も掲げた。なお、教材のうち、筆者名のないものは、編集委員が書き下ろしたものである。

d　各領域について
　ア「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」の領域については、年間を通じてより系統的に学習効果が高められるよう配慮した。発表、課題についての討論、意見文、手紙、創作等、具体的な学習活動を設定し、それらの自己評価・他者評価も含めて、指導が具体的にできるよう配慮した。また「C読むこと」の領域においても、これら「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する「研究」問題を設定し、それらの能力の習熟向上を図った。
　イ「C読むこと」の領域については、「近代以降の文章」を扱う単元と「古典」を扱う単元とに分けて配当時間を案分し、さらに「古典」を扱う単元は、これを「古文」と「漢文」とに分け、一方だけに偏らないように配慮した。また、音読や暗唱等の学習活動に配慮した教材も掲げた。
　ウ［伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項］については、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての単元で指導できるように配慮した。さらに、「言葉のi１～４」を設定し、効果的な指導が行えるようにした。

e　注
　ア　　注　固有名詞・外来語や辞書では検索しにくい語句や難語句について、番号を付し、その解説をした。解説は文脈に即して行い、読解上の抵抗を少なくするようにした。
　イ　　注意点　*を付けて、本文読解上の注意点を質問の形で示した。
　ウ　　注意する語句　＊を付けて示した。近代以降の文章では、知っておきたい語句、慣用句、難語句等を掲げた。古文では、重要語句を中心とした。漢文では基本句形を掲げた。

f　課題・研究
　「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材には随時「課題」を設け、実践的な学習ができるように配慮した。また「読むこと」の教材については、「研究」を設け、「読むこと」にかかわる問題と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」にかかわる問題とを設けた。さらに「言葉の学習」を設け、基本的な語句の意味・用法を理解習熟させる、言語事項にかかわる問題を設けた。

g　漢字の整理
　教材本文の末尾に「漢字の整理」を設け、［伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ウ］の助けとした。常用漢字のうち、一部の音訓を除いて中学校までに習得しておかなければならない漢字を除いたものを示し、初出ページと熟語の例を示した。書体は、書く便宜を考慮し、教科書体（筆写体）を用いた。

h　読書のすすめ
　各教材の最後に、教材に関連した読書案内を掲げた。

i　付録
　ア　文法要覧　「言葉のi」「言葉の学習」との関連も考慮し、言葉のきまりの知識を体系的に整理するために示した。
　イ　日本文学史年表・中国文化史年表　文学史的興味・関心の深化を促し、読書への発展に資するものとして示した。
　ウ　参考図録　封筒・はがきの書き方、頭語・結語の例、敬称の例、原稿用紙の使い方、四季・月（陰暦）の名称、干支表、方位、時刻、陰暦月齢表を、学習に資するものとして示した。
　エ　重要古語の解説及び索引　基本的な重要語句の理解や習得の徹底を図るように意を用いた。
　オ　漢文の基本句形　基本句形のうちの主要なものを中心に、主に本文の用例とともに一覧にし、初出のページを示した。また、本文の用例がないものは、最も端的に用いられている用例とその出典を示した。
　カ　常用漢字表　「漢字の整理」と照応させながら、漢字の知識が整理できるように示した。また、印刷文字と手書きの違いについての解説を掲げた。
　キ　常用漢字表　付表　慣用的な読みの習得を助けるために示した。
　ク　高等学校で学習する音訓一覧　常用漢字について、中学校段階までで学習していない音訓をまとめて示した。

j　資料
　ア　「三つの風景」「アルバム　近代の文学者たち」「白鳥は哀しからずや」（短歌）「万緑の中や」（俳句）　教材の理解を助ける写真、及び、文学史的理解の参考になる写真を掲げた。
　イ　平安京条坊図・大内裏図・内裏図・旧国名都道府県名対照図　「近代以降の文章」教材及び古文教材の学習に資するものとして示した。
　ウ　京都付近図　古文教材の学習に資するものとして示した。
　エ　古典参考図録　平安時代の住居・女性の装束・男性の装束・武装を、古文教材の学習に資するものとして示した。
　オ　中国新旧参考地図　漢文教材の学習に資するものとして示した。

２．対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容								箇所	配当時間		
			A　話すこと・聞くこと	B　書くこと	C　読むこと	〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	(2)内容の取扱いA	(3)内容の取扱いB	(4)内容の取扱いC	(6)内容の取扱い		A	B	C
現代文編														
写真　三つの風景「上野村の風景」「東京の夜景」「風鐸」・アルバム近代の文学者たち「与謝野晶子」「石川啄木」「中原中也」「太宰治」		(1)									見返し1～2			
		(2)												
写真「松の葉」「玄鳥」「鰯雲」「白牡丹」「すすき」「啄木鳥」「芋の露」「玫瑰」		(1)									見返し3			
		(2)												
１現代文入門	水の東西	(1)			ア　イ　　エ　オ	イ-ァ イ-ィ　ウ					P. 8～13			1
		(2)												
	「ふと」と「思わず」	(1)			ア　イ　　エ　オ	イ-ァ イ-ィ　ウ					P. 14～18			1
		(2)												
	多様性は人間だけのものか	(1)			ア　イ　　エ　オ	イ-ァ イ-ィ　ウ					P. 19～23			1
		(2)												

２小説（２）	羅生門	(1)			ア イ ウ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 24〜36			3
		(2)			エ									
言葉のｉ１	状況に応じた言葉の使い方	(1)				イ-ァ イ-ィ	イ				P. 37			
		(2)												
３評論（１）	美意識は資源である	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 38〜46			2
		(2)												
	評論の窓　陰翳礼讃	(1)			ア イ エ オ	ア-ァ イ-ァ イ-ィ ウ					P. 47〜48			
		(2)												
	時間をめぐる衝突	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 49〜53			2
		(2)												
	マルジャーナの知恵	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 54〜60			2
		(2)			ウ エ									
言葉のｉ２	つながりを持たせる言葉	(1)				イ-ァ イ-ィ	イ				P. 61			
		(2)												
４詩	甃のうへ	(1)			ア ウ エ	ア-ァ ア-ィ ウ			イ		P. 62〜63			1
		(2)												
	サーカス	(1)			ア ウ エ	イ-ァ イ-ィ ウ			イ		P. 64〜66			
		(2)												
	詩の窓　一月十七日　暁闇	(1)			ア ウ						P. 67			
		(2)												
	I was born	(1)			ア ウ エ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 68〜71			2
		(2)												
	ふと	(1)			ア ウ	イ-ァ ウ					P. 72〜74			
		(2)												
	詩の窓　青い空に	(1)			ア ウ						P. 75			
		(2)												
	詩歌の窓　言葉について	(1)			ア イ エ オ	ア-ァ イ-ァ イ-ィ ウ					P. 76〜77			
		(2)												
５評論（２）	マンモスの歩いた道	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 78〜85			2
		(2)												
	評論の窓　「分かる」とは何か	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 86〜87			
		(2)												
	ネットとリアルのあいだ	(1)			ア イ エ オ	ア-ァ イ-ァ イ-ィ ウ					P. 88〜95			2
		(2)			エ									
	日常性の壁	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 96〜101			2
		(2)												
６小説（２）	海の方の子	(1)			ア ウ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 102〜118			2
		(2)												
	青が消える	(1)			ア ウ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 119〜127			2
		(2)												
表現	意見文を書く	(1)		ア イ ウ エ	イ						P. 128〜137		9	
		(2)		イ										
	ディベート	(1)	ア イ ウ エ								P. 138〜143	7		
		(2)	ア イ ウ											
７短歌・俳句	白鳥は哀しからずや	(1)		ア	ア ウ	ア-ィ イ-ァ イ-ィ ウ			イ		P. 144〜148		1	2
		(2)			エ									
	短歌の窓　「この味がいいね」	(1)			ア ウ オ						P. 149			
		(2)												
	万緑の中や	(1)			ア ウ	ア-ァ イ-ァ イ-ィ ウ			イ		P. 150〜153		2	2
		(2)		ア										
	俳句の窓　あんずあまさうな	(1)			ア ウ オ						P. 154			
		(2)												
言葉のｉ３	言葉のバリエーション	(1)				イ-ァ イ-ィ	イ				P. 155			
		(2)												
８評論（３）	働くことの意味	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 156〜163			2
		(2)												
	思想と向き合う	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 164〜170			2
		(2)												
	自由の優越＝困難	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 171〜176			2
		(2)												
	評論の窓　哲学と詩のあいだ	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 177〜178			
		(2)												
言葉のｉ４	言葉の説明	(1)				イ-ァ イ-ィ	イ				P. 179			
		(2)												
９小説（３）	城の崎にて	(1)			ア ウ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 180〜190			2
		(2)												
	富嶽百景	(1)			ア ウ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 191〜209			3
		(2)			エ									
１０評論（４）	世界中がハンバーガー	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ					P. 210〜216			2
		(2)												
	漢文脈と近代日本	(1)			ア イ エ オ	ア-ァ イ-ァ イ-ィ ウ			ウ		P. 217〜223			2
		(2)												
	評論の窓　学問のすゝめ	(1)			ア イ エ オ	ア-ァ ア-ィ イ-ァ イ-ィ ウ					P. 224			
		(2)												
	〈普遍語〉とは何か？	(1)			ア イ エ オ	イ-ァ イ-ィ ウ	イ				P. 225〜231			2
		(2)												

表現	発表する　私の好きなもの	(1)	ア　ウ　エ								P. 232〜233	4	2	
		(2)	ア　イ											
	手紙を書く　拝啓芥川龍之介様	(1)		ア　イ　ウ							P. 234〜235		3	
		(2)		ウ										
	絵や広告を読むあなたに伝えたいこと	(1)		ア　ウ	ア						P. 236〜237	3	4	1
		(2)		イ	イ　ウ									
	読んだ本を紹介する　この本がおすすめ！	(1)		ア							P. 238〜239		3	
		(2)		イ										
	創作する　新しい物語の世界	(1)		ア　ウ　エ							P. 240〜242	3	5	1
		(2)		ア	ア									
付録	日本近・現代文学史年表	(1)									P. 243〜255			
		(2)												
	参考図録	(1)									P. 256〜257			
		(2)		ウ										
	常用漢字表 常用漢字表 付表	(1)			ウ						P. 258〜271			
		(2)												
	高等学校で学習する音訓一覧	(1)									P. 272			
		(2)												
あの人の手紙（夏目漱石・芥川龍之介）		(1)		ア　ウ　エ	ア						見返し4〜5			
		(2)		ウ	ウ									
古典編														
平安京条坊図・大内裏・内裏		(1)									見返し1			
		(2)												
京都付近図		(1)									見返し2			
		(2)												
旧国名・都道府県名対照図		(1)									見返し3			
		(2)												
1古文入門	なぜ古文を学ぶのか	(1)			ア　イ						P. 8〜9			1
		(2)												
	児のそら寝（宇治拾遺物語）	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ			イ		P. 10〜11			
		(2)												
	古文を読むために1	(1)				ア - ァ ア - ィ					P. 12〜13			
		(2)												
	正直の徳（沙石集）	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 14〜15			1
		(2)												
	古文を読むために2	(1)				ア - ァ ア - ィ					P. 16〜17			
		(2)												
	尼、地蔵を見奉ること（宇治拾遺物語）	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 18〜19			1
		(2)												
	古文を読むために3	(1)				ア - ァ ア - ィ					P. 20〜21			
		(2)												
2徒然草	つれづれなるままに	(1)			ア　ウ　エ	ア - ァ ア - ィ			イ		P. 22			1
		(2)												
	名を聞くより	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 23			
		(2)												
	奥山に猫またといふものありて	(1)			ア　ウ　エ	ア - ァ ア - ィ					P. 24〜25			1
		(2)												
	ある人、弓射ることを習ふに	(1)			ア　ウ　エ	ア - ァ ア - ィ					P. 26〜27			1
		(2)												
	花は盛りに	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 28〜30			1
		(2)												
	古文を読むために4	(1)				ア - ァ ア - ィ					P. 31〜33			
		(2)												
3竹取物語	かぐや姫の生ひ立ち	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 34〜36			1
		(2)												
	かぐや姫の嘆き	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 37〜39			1
		(2)												
	月からの迎え	(1)			ア　ウ					イ	P. 40〜42		1	1
		(2)			ア									
	古文を読むために5	(1)				ア - ァ ア - ィ					P. 43〜45			
		(2)												
4伊勢物語	芥川	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 46〜47			1
		(2)												
	東下り	(1)			ア　ウ　エ	ア - ァ ア - ィ					P. 48〜51			1
		(2)												
	筒井筒	(1)			ア　ウ	ア - ァ ア - ィ					P. 52〜54			1
		(2)												

５和歌	万葉集	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 55～57			3
		(2)												
	古今和歌集	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 58～60			
		(2)												
	新古今和歌集	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 61～64			
		(2)												
	「自分のために詠まれた歌」が、必ずある	(1)			ア　　ウ　　オ					イ	P. 65～67			
		(2)												
	古文を読むために６	(1)				ア-ァ ア-ィ					P. 68～69			
		(2)												
６平家物語	『平家物語』とは	(1)			ア　イ					イ	P. 70～71			3
		(2)												
	富士川	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			イ		P. 72～73			
		(2)												
	巴	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			イ		P. 74～75			
		(2)												
	坂落	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			イ		P. 76～77			
		(2)												
	能登殿最期	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			イ		P. 78～79			
		(2)												
	古文を読むために７	(1)				ア-ァ ア-ィ					P. 80～81			
		(2)												
７土佐日記	門出	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 82～83			1
		(2)												
	帰京	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 84～85			1
		(2)												
８奥の細道	旅立ち	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			イ		P. 86～88			1
		(2)												
	平泉	(1)			ア　　ウ　エ	ア-ァ ア-ィ					P. 89～90			1
		(2)												
	立石寺	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 91～92			1
		(2)												
１漢文入門	なぜ漢文を学ぶのか	(1)			ア　イ						P. 94			1
		(2)												
	漢文入門	(1)			ア	ア-ァ ア-ィ				イ	P. 95～100			
		(2)												
	再読文字のまとめ	(1)				ア-ァ ア-ィ					P. 101			
		(2)												
	故事　守株・螳螂之斧・蛇足・断腸	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ　　イ-ィ			イ	イ	P. 102～108			2
		(2)												
	置き字のまとめ	(1)				ア-ァ ア-ィ					P. 109			
		(2)												
２十八史略	鶏口牛後	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ			ウ		P. 110～111			2
		(2)												
	鼓腹撃壌	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ　　イ-ィ					P. 112～113			2
		(2)												
	臥薪嘗胆	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ　　イ-ィ					P. 114～117			2
		(2)												
３唐詩	漢詩のリズム	(1)			ア　イ						P. 118～119			3
		(2)												
	春暁・秋日・静夜思・江雪・山亭夏日・送元二使安西・春望・八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九	(1)			ア　　ウ　エ	ア-ァ ア-ィ　　イ-ィ			イ		P. 120～126			
		(2)												
	日本漢詩	(1)			ア　イ	ア-ァ ア-ィ					P. 127			
		(2)												
	漢詩の手引き　漢和辞典の引き方	(1)			ア　イ	ア-ァ					P. 128～129			
		(2)												
４思想	論語	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 130～135			3
		(2)												
	不忍人之心	(1)			ア　イ　ウ	ア-ァ ア-ィ　　イ-ィ					P. 136～137			2
		(2)												
	儒家と道家	(1)			ア　イ						P. 138～139			
		(2)												
５文	愛蓮説	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 140～141			1
		(2)												
	桃花源記	(1)			ア　　ウ　エ	ア-ァ ア-ィ					P. 142～145			2
		(2)												
	兼山遠慮	(1)			ア　　ウ	ア-ァ ア-ィ					P. 146～147			1
		(2)												

付録	文法要覧	(1)				ア－イ					P. 148～157			
		(2)												
	日本古典文学史年表	(1)							ウ		P. 158～163			
		(2)												
	参考図録	(1)				ア－ア					P. 164			
		(2)												
	重要古語の解説および索引	(1)				ア－ア					P. 165～169			
		(2)												
	中国文化史年表	(1)							ウ		P. 170～173			
		(2)												
	漢文の基本句形	(1)				ア－イ					P. 174～175			
		(2)												
古典参考図録	住居	(1)									口絵1			
		(2)												
	女性の装束	(1)									口絵2			
		(2)												
	男性の装束	(1)									見返し4			
		(2)												
	中国新旧参考地図	(1)									見返し5～6			
		(2)												
											計	17	30	93